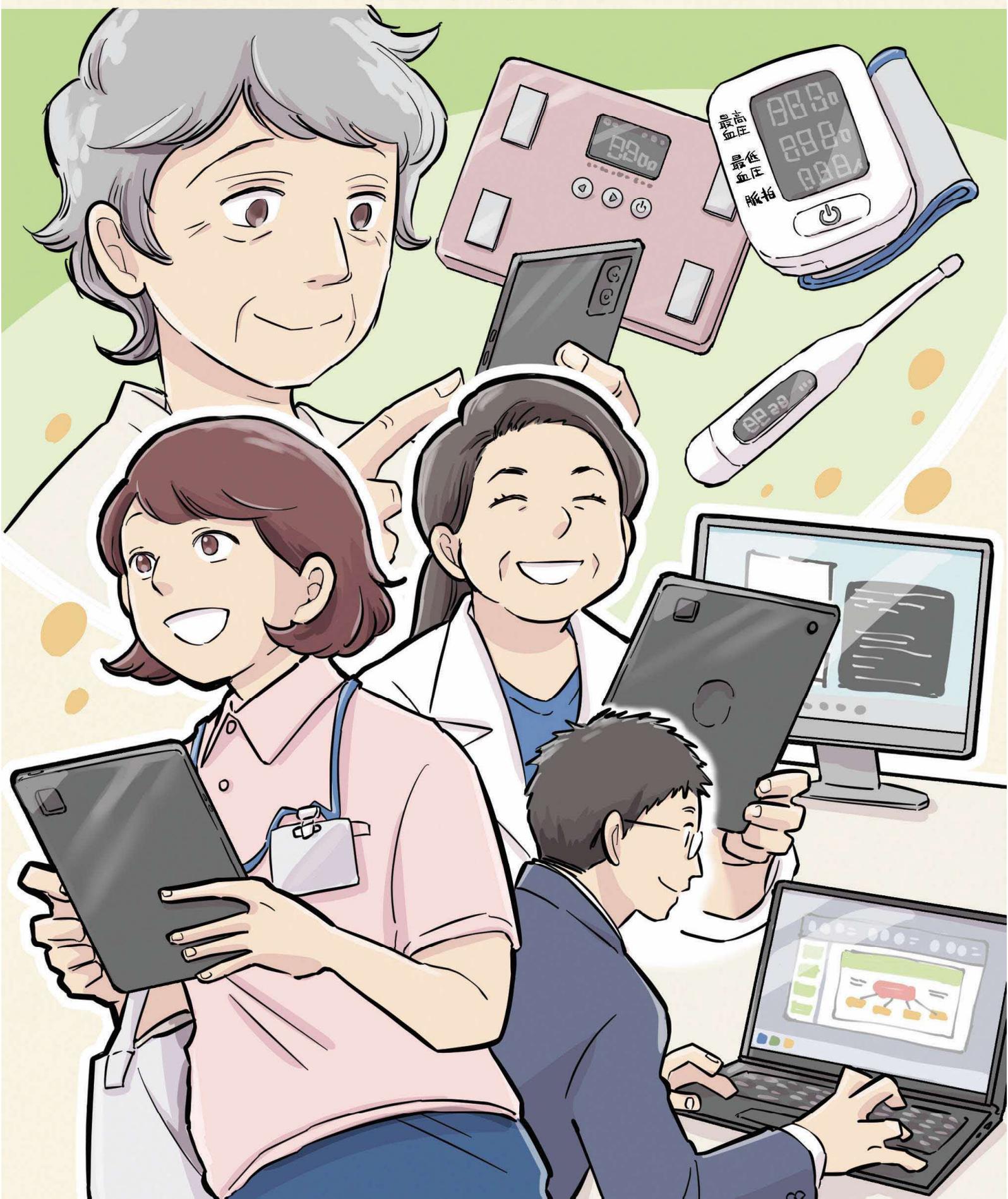
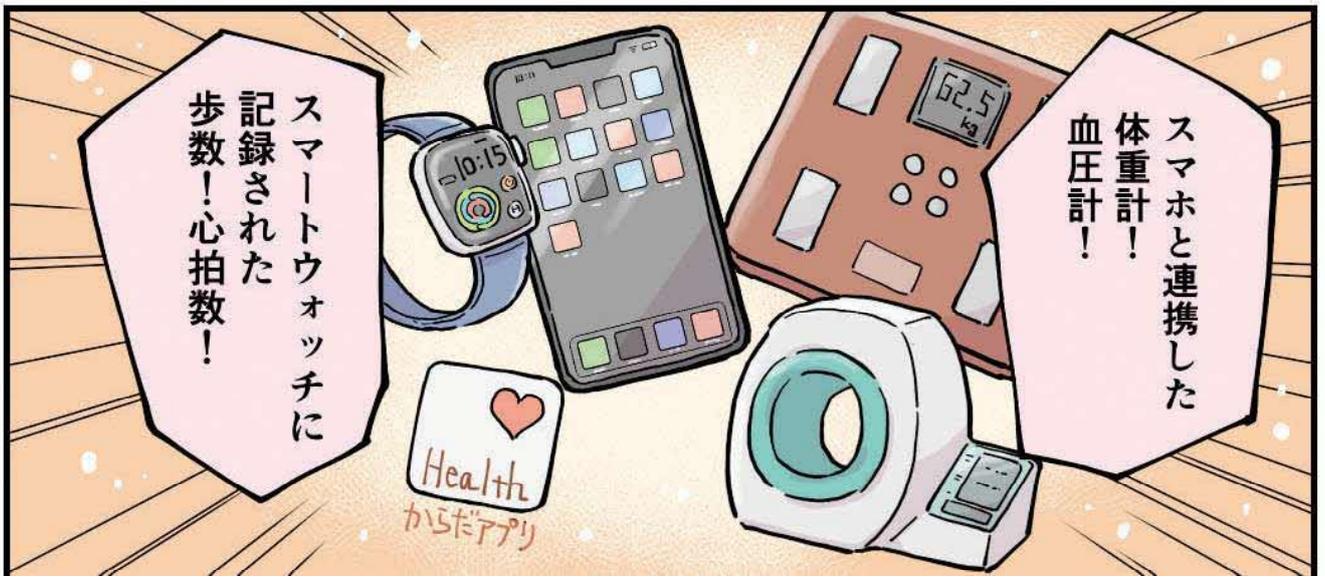
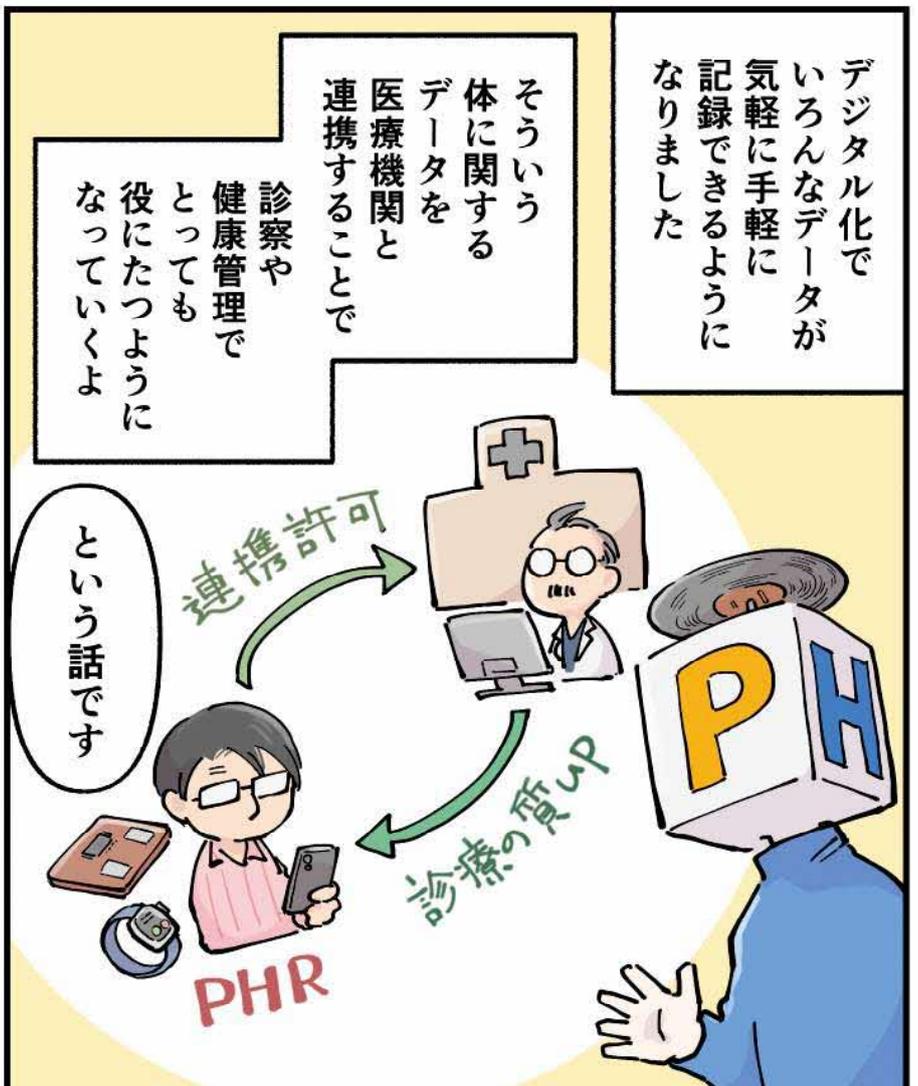
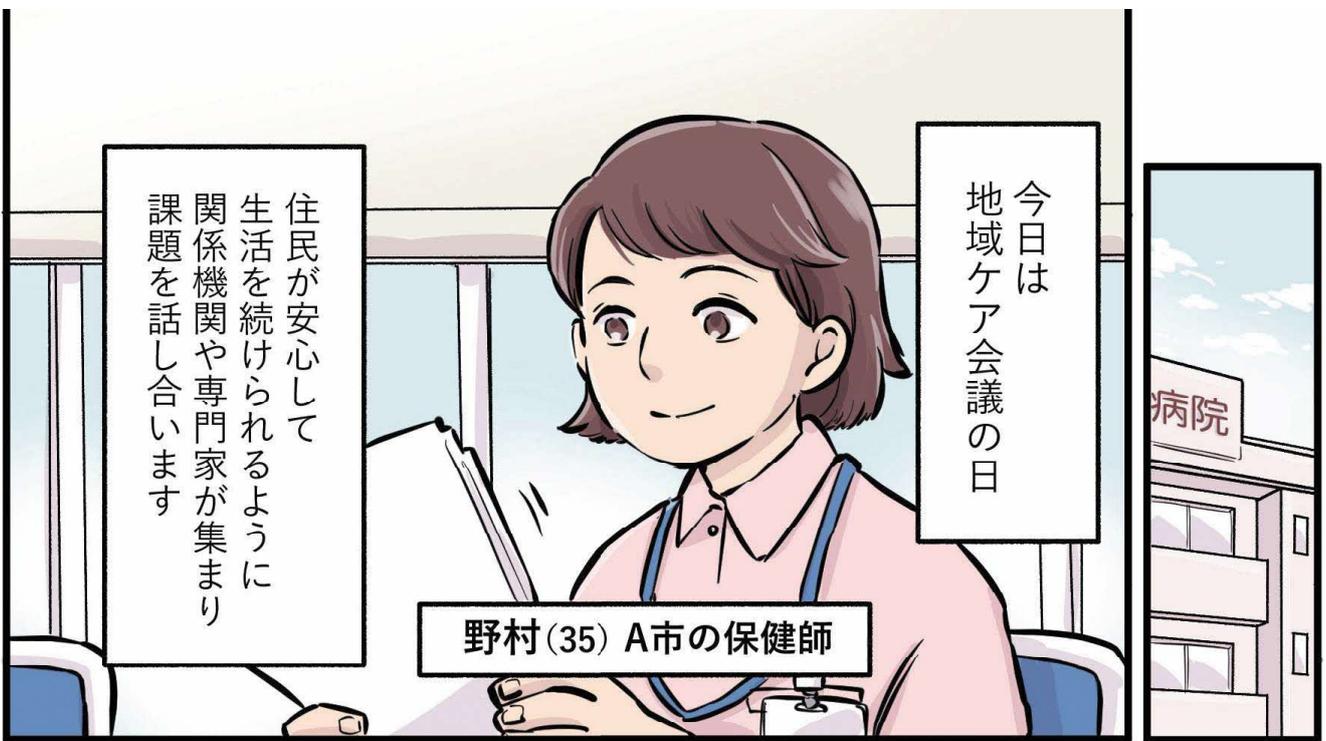


PHR ネットワークで創り出す 健康・医療・介護DXの近未来









今日は
地域ケア会議の日

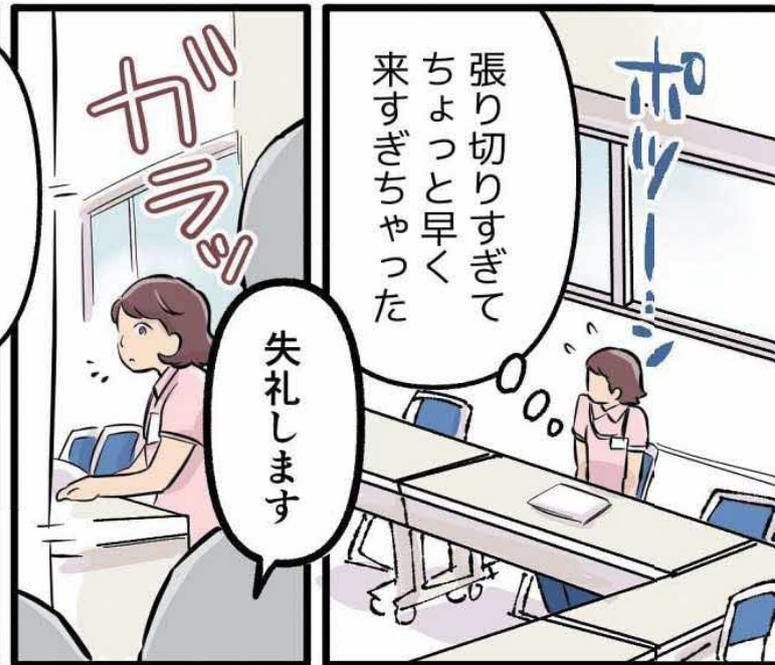
住民が安心して
生活を続けられるように
関係機関や専門家が集まり
課題を話し合います

野村(35) A市の保健師



お 野村さん
早いわね!

戸田(50) 医師



張り切りすぎて
ちよっと早く
来すぎちゃった

失礼します



大事なのは
**気合
根性
度胸**
よ!

いただきました!
戸田先生の
三連コンボ!



戸田先生!
お疲れ様です!

お疲れ様
今日もバリバリ
頑張りましたよね!



介護担当の職員や
訪問看護師が毎日
患者さんの血圧や体温
お通じまで
記録してるんですけど

その記録が医師には
伝わっていない
みたいなんです

せっかく
記録しているのに
もったいないと
思ってます…



そうだと
会議が始まる前に
戸田先生にご相談
したいんですけど…
あるんですけど…

どうしたの？



調べられる場合でも
手間がかかって
迅速な処置が
できないのも課題だわ

もっとカンタンに
共有できれば
いいんですけど…



それは私も
課題に感じていたわ

診察する側も
日々の患者情報が
すぐに把握できないと
適切な処置が
できないのよね

救急災害時などは特に



うん
うん



やっぱり
医療や介護現場の
データを使った
連携改善が
必要不可欠ね

こんな大事な情報が
埋もれるのを
見過ごすことなんて
できないわ!



ではさっそく
行ってきます!

いやいや
会議これから
だから

だっ



一人でも多くの人の
健康を守るために
できることがないか
調べてみます!

カッ
タッ



……意気込んで
みたけど
なにかからやれば
いいんだろう

野村





※全国医療情報プラットフォーム：
ひとりひとりの保健・医療・介護情報を医療機関や自治体、
介護事業者、本人などで共有できるシステムのこと

※医療DX：
デジタルを活用して社会や生活を変えることで
医療・介護や健康づくりの課題を解決すること



そして
それらのデータを活用した
医療・介護DXの
カギを握っているのが
PHRサービスなんだ



でもそれだけでは
完璧とは言えない

医療や介護を
より良くするために

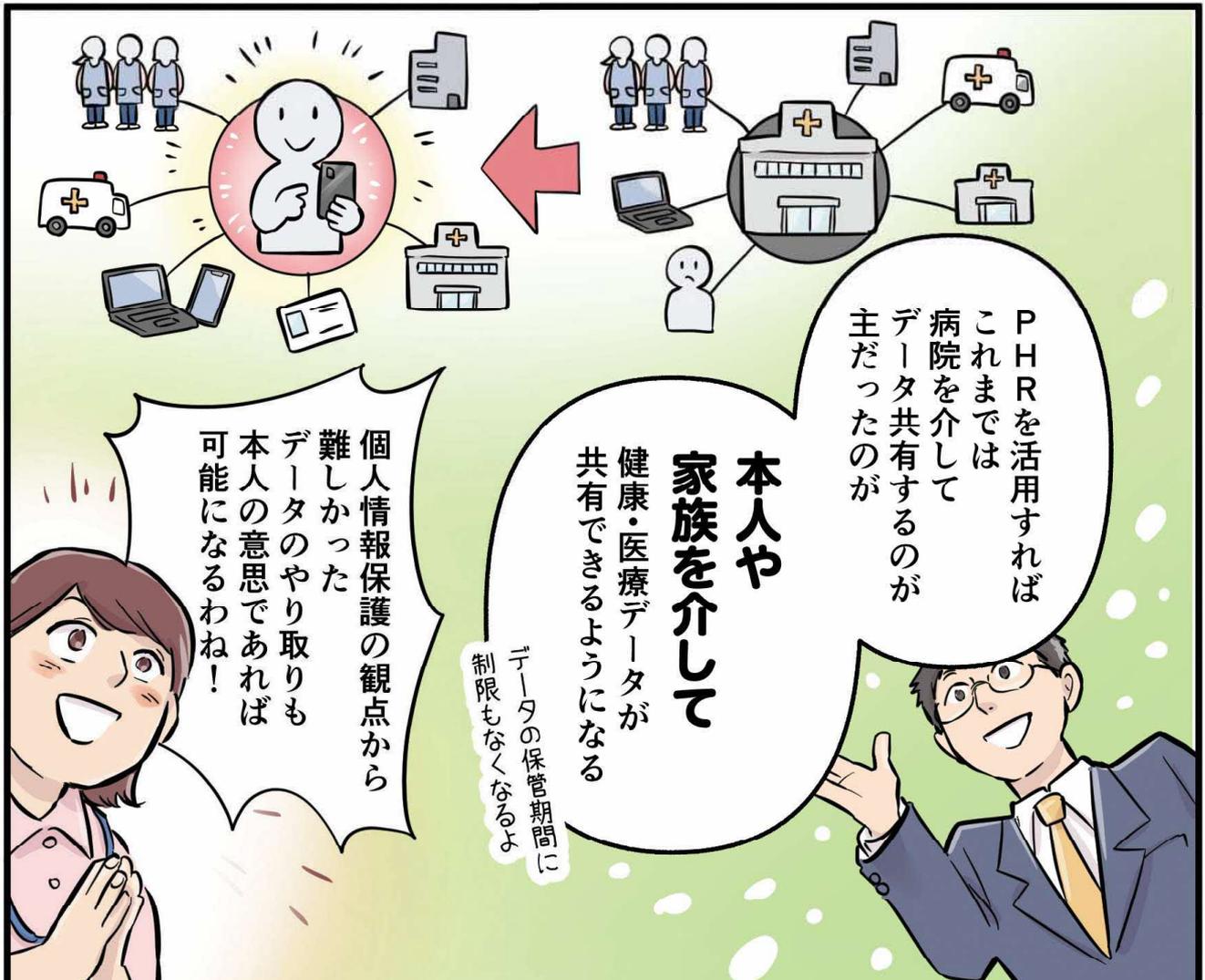
※自分たちの意思で
ライフログデータを

医療者や介護者と
共有することが
大切なんだ

現場での
記録の負担も
軽減するしね

の情報は
の意思で
自ら
自ら

※ライフログデータ：
家庭での血圧や体重、体温、食事や運動等の日々記録される健康に関わる記録のこと



PHRを活用すれば
これまでは
病院を介して
データ共有するのが
主だったのが

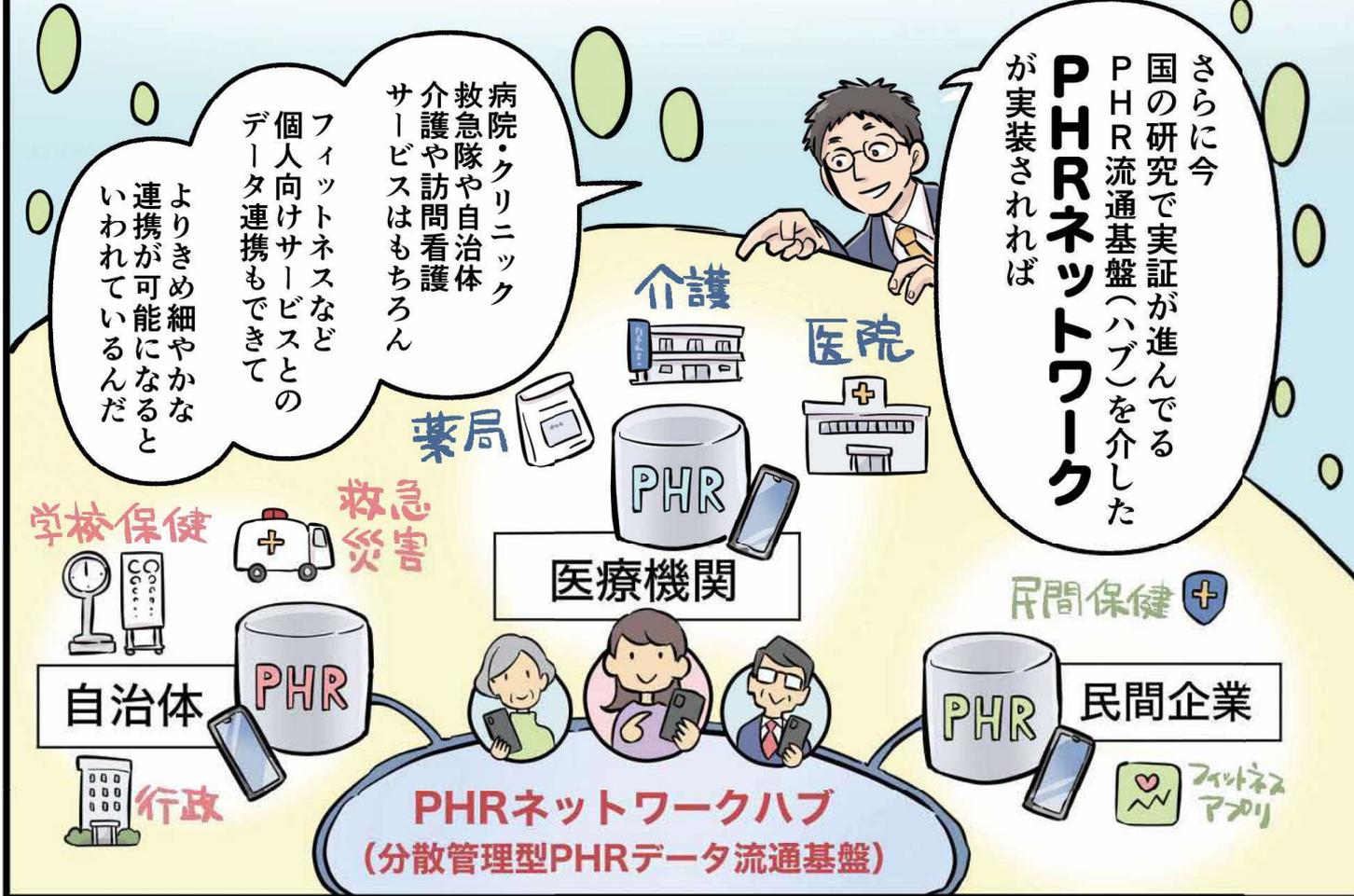
本人や
家族を介して

健康・医療データが
共有できるようになる

データの保管期間に
制限もなくなるよ

個人情報保護の観点から
難しかった
データのやり取りも
本人の意思であれば
可能になるわね！

【PHRネットワークを通じた本人・家族主体のPHRデータの活用】



どう？
PHRを活用すれば
野村の言ってた
課題も解決
できそうじゃない？



個人のデータが
埋もれてしまうことも
ほぼなくなるんじゃないかな



…うん！
これは絶対
導入すべきだよ！

戸田先生に
提案してみる！

そう言うと思った
僕も提案書
まとめてみるよ



これ
めちやくちや
良いじゃない!



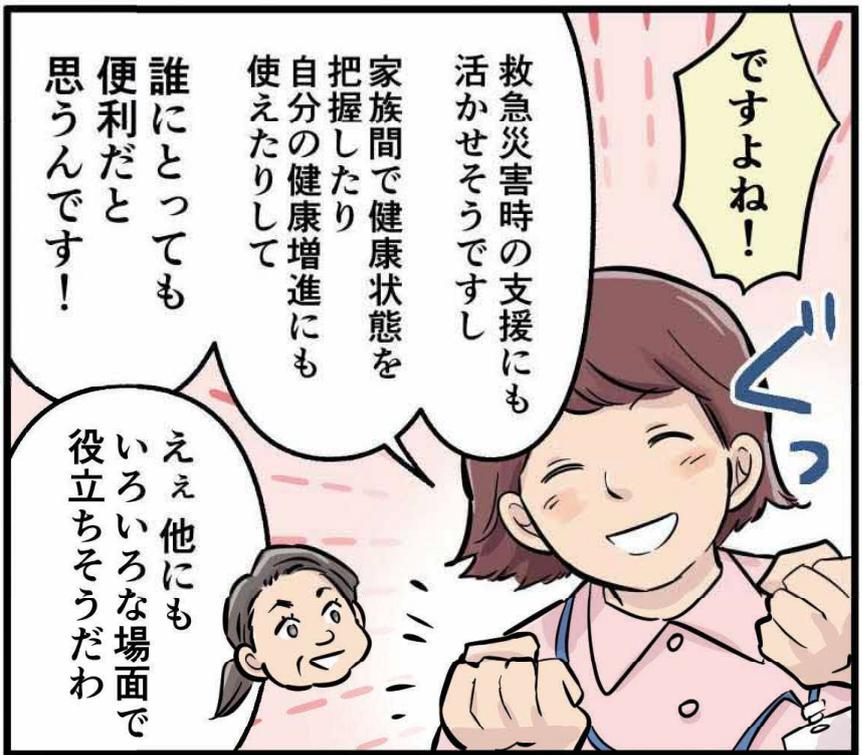
P H R ……



母子保健でも
活用できそう

子どもの
ワクチン接種歴や
成長記録を
P H R サービスで管理
できれば保健指導も
しやすくなるわ!

母子健康手帳を
デジタル化する
イメージね



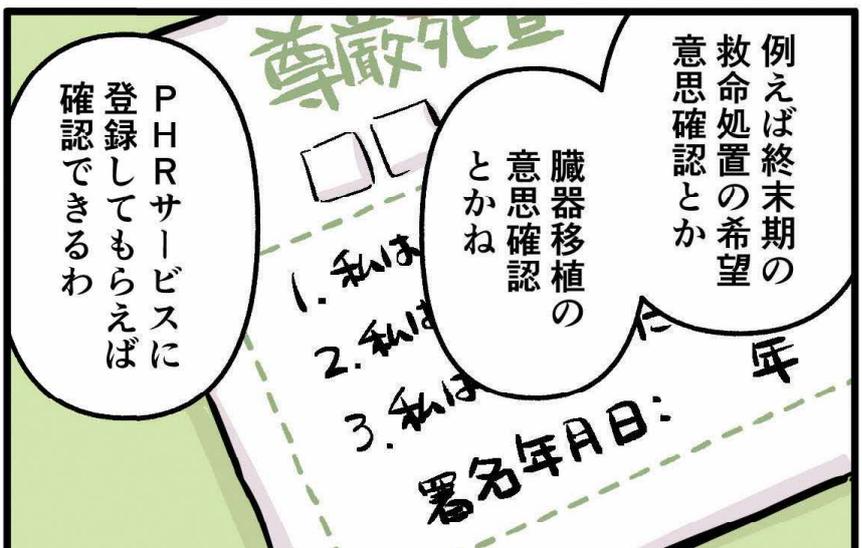
ですよね!

救急災害時の支援にも
活かせそうですし

家族間で健康状態を
把握したり
自分の健康増進にも
使えたりして

誰にとっても
便利だと
思うんです!

ええ他にも
いろいろな場面で
役立ちそうだわ



例えば終末期の
救命処置の希望
意思確認とか

臓器移植の
意思確認
とかね

P H R サービスに
登録してもらえば
確認できるわ

署名年月日: 年



すごい
希望が広が
りますね！

ええ
この地域にも
PHRネットワークが導入
できればより多くの人に
適切な対応ができる
ようになるわ！

色々な場面で
活用するとすると
日常生活の中で
無理なくデータを
入れられる仕組みづくり
が大事ですよね

フィットネスアプリや
介護見守りサービスと
連携できるシステムを
考えてみようと思います



二人とも
**気合
根性
度胸**
よ！



市の予算が獲得
できるように
企画書づくりも
頑張ります！

私は導入に向けて
役所内で仲間を
集めてきます！
民間企業にもメリットが
あるし協力して
もらいましょう！

私も医師会で
説明してみるわ！



そして
月日は流れ――



おー



PHR (パーソナルヘルスレコード) シリーズ公開中!

他のマンガも是非ご覧ください



漫画は下記から!



PHRの重要性とその利用方法を広く理解していただくため、
PHRの活用例・メリットについて、わかりやすく説明したマンガです。
PHRの紹介のために広くご活用ください。

2025年3月 第一版発行

このマンガは、日本医療研究開発機構 (AMED) の
「医療・介護・健康データ活用基盤高度化事業 (医療高度化に資するPHRデータ流通基盤構築事業)」
(代表:石見拓;2023~2024年度;課題番号:JP23tsb224001)の成果物です。

協力:一般社団法人PHR普及推進協議会、永田 礼路

マンガ・構成 (本編):すずきさちこ

一般社団法人PHR普及推進協議会

HP:<https://phr.or.jp> 住所:東京都渋谷区恵比寿西1-16-8 彰和ビル4階

公式HP

